



ARTS COUNCIL TOKYO

PRESS RELEASE

平成 29 年 3 月 30 日

アーツカウンシル東京

(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京芸術祭 総合ディレクター（2018 年～2020 年） 宮城聰氏 就任のお知らせ

「東京芸術祭」は、東京に世界から人が集まり、東京の活力を高めることを目指し、2016 年から池袋を中心に舞台芸術祭としてスタートいたしました。

このたび 2018 年から 2020 年までの東京芸術祭総合ディレクターに宮城聰氏が就任しました。

宮城聰氏からのコメント

ここ2、3年の世界の状況が、1930年代と似ていると感じざるを得なくなってきた。いわゆる「分断」、社会の“裂け目”が露呈するようになり、世の中の過半のひとが、何か「割りを食っている」という疎外感を覚えているように思う。そして同時に「どこかに得をしている連中が居るはずだ」と、憎悪の対象を探している。これは1930年代のドイツの状況に似ている。そして当時のドイツでは、意外にも公立劇場が「得をしている連中＝既得権の側」にいと見なされていたのだが、現在の東京の演劇界も、それと同じような状況なのではないかと危惧している。

「分断」の中身は、しばらく前までは、豊かな国と貧しい国、搾取している国とされている国、経済植民地になっている国とされている国、という南北問題に帰趨される対立であったが、最近ではひとつの国の中、比較的先進国と言われていた国の中に分断がある。

そんな現代の東京でどのような芸術祭が成り立つのか。どういう役割を果たせるのか。これまでと違うアプローチが必要だろう。そのためには「国内」「国際」「地域」の面から考え、光を当てていきたい。

1つ目は、囲いがなく外からも覗くことができる場所で超一流のクオリティをもった作品を上演し、人が集まる場をつくること。2つ目は、かつてのパリやニューヨークのようにアジアの若い人たちが東京に行ってみたいと思うような発信をすること。そして3つ目は、東京と地域の連携を考えるということ。2020年の東京オリンピックが東京の一極集中を加速させることにならないよう、芸術ができることを考えていきたい。

平成 29 年 3 月 29 日 宮城聰

<本リリースに関するお問い合わせ>

アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団） 広報担当：森（隆）、圓城寺

TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp

<東京芸術祭に関するお問合せ>

東京芸術祭組織委員会事務局

TEL：03-6388-0119 E-mail：info@tokyo-metropolitan-festival.jp

■宮城聰氏プロフィール



撮影:新良太

宮城聰(みやぎ・さとし)

演出家、SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督

1959年東京生まれ。演出家。SPAC-静岡県舞台芸術センター芸術総監督。東京大学で小田島雄志・渡辺守章・日高八郎各師から演劇論を学び、90年劇団ク・ナウカ旗揚げ。国際的な公演活動を展開し、同時代的テキスト解釈とアジア演劇の身体技法や様式性を融合させた演出は国内外から高い評価を得ている。2007年4月SPAC芸術総監督に就任。自作の上演と並行して世界各地から現代社会を鋭く切り取った作品を次々と招聘、また、静岡の青少年に向けた新たな事業を展開し、「世界を見る窓」としての劇場づくりに力を注いでいる。17年には日本の演出家として初めてアヴィニオン演劇祭メイン会場となる法王庁中庭でのオープニング公演に選ばれ『アンティゴネ』を上演する。その他の代表作に『王女メディア』『パール・ギュント』など。06年よりアジア舞台芸術祭プロデューサーをつとめる。04年第3回朝日舞台芸術賞受賞。05年第2回アサヒビール芸術賞受賞。

■選考理由

宮城聰氏は、劇団ク・ナウカの主宰者・演出家、静岡県舞台芸術センターの芸術総監督、「ふじのくににまかせ」演劇祭(元 Shizuoka 春の芸術祭)のディレクターとして創造的な活動を行っており、総合的な企画及び情報収集に長く携わってきました。また、運営面の統括でも実績を上げています。さらにアヴィニオン演劇祭のメイン公演における「マハーバーラタ」の成功等により高い知名度と国際的なネットワークをもっていること、高いプレゼンテーション能力を持つことから、宮城氏が最も適任であると判断しました。

■選任までの経緯

東京芸術祭組織委員会において複数の候補者を挙げて検討した上で絞り込み、アーツカウンシル東京カウンシルボードに推薦しました。アーツカウンシル東京カウンシルボードの審議により総合ディレクター1名が選考され、公益財団法人東京都歴史文化財団が任命いたしました。

アーツカウンシル東京カウンスルボード(50音順)

委員:	内野儀	東京大学大学院教授
	片山正夫	公益財団法人セゾン文化財団常務理事
*議長	加藤種男	公益社団法人企業メセナ協議会前専務理事
	中谷巖	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社理事長
	船曳建夫	東京大学名誉教授
	吉本光宏	株式会社ニッセイ基礎研究所研究理事

東京芸術祭組織委員会(50音順)

組織委員長:	福地茂雄	公益財団法人新国立劇場運営財団顧問
委員:	市村作知雄	フェスティバル/トーキョー実行委員会副委員長・ディレクター
	小澤弘一	豊島区文化商工部長
	高萩宏	東京芸術劇場副館長(公益財団法人東京都歴史文化財団)
	東澤昭	公益財団法人としま未来文化財団常務理事・事務局長
	鳥田浩平	東京都生活文化局文化振興部長
	宮城聰	アジア舞台芸術人材育成部門(APAF)ディレクター
	三好勝則	アーツカウンシル東京機構長(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京芸術祭:

東京の多彩で奥深い芸術文化を通して世界とつながることを目指した、都市型総合芸術祭です。東京の芸術文化の魅力の分かり易く見せると同時に東京における芸術文化の創造力を高めることを目指しています。また、中長期的には社会課題の解決や人づくり、都市づくり、そしてグローバル化への対応を視野にいれて取り組んでいきます。

<http://www.tokyo-metropolitan-festival.jp/>

平成28年(2016年)から毎年実施

主催: 東京芸術祭組織委員会

会場: 東京芸術劇場、あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)、池袋西口公園 ほか
豊島区池袋を中心に開催

■東京芸術祭 2017

平成29年(2017年)9月~12月開催(予定)

■東京芸術祭 2018~2020

総合ディレクター: 宮城聰、毎年秋開催(予定)